

## 「ホットペッパーグルメ外食総研」外食店からのテイクアウトについて調査 コロナ禍で「外食店からのテイクアウト」利用が増えた人が約3割 「今後増やしたい中食ランキング」の1位は「外食店からのテイクアウト」

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」は、男女1,032人を対象に、緊急事態宣言後の生活における「外食店からのテイクアウト」について調査を実施しましたので、結果をお知らせいたします。

### 調査結果と解説

#### ■コロナ禍で「外食店からのテイクアウト」が増えた人が約3割、今後増やしたい中食としても注目

かねてからの中食市場の拡大に加え、コロナ禍で食のボーダレス化が加速しています。調査結果から、中食（※1）の購入頻度増加の1位が「スーパー、コンビニエンスストアなどの小売店」。次いで僅差で「外食店からのテイクアウト」が2位でした。また、「今後頻度を増やしたい中食」については「外食店からのテイクアウト」を増やしたいと回答した人が約2割で、減らしたいと答えた人(11.0%)よりも8.8ポイント上回り、「増やしたい」意向と「減らしたい」意向の差分では中食で第1位という結果になりました。

（※1）外で買ってきた料理を食べたり、出前や宅配を利用して食べること

Q.2020年7月～9月と昨年の同時期を比べて、下記（※2）で料理を購入したり注文したりする頻度は増えましたか？  
(n=1,032、各項目単一回答)

Q.朝食・昼食・夕食問わず食事の購入・注文について、下記（※2）のそれぞれの頻度を今後どうしたいと考えていますか？  
(n=1,032、各項目単一回答)

順位	コロナ禍で増えた中食ランキング	%
1	スーパー、コンビニエンスストアなどの小売店	28.1
2	外食店からのテイクアウト	28.0
3	持ち帰り専門店からのテイクアウト	25.4
4	宅配専門店からのデリバリー	17.9
5	宅配専門店の店頭受け取り	13.2

（注）「増えた」の割合（「とても増えた」「やや増えた」の回答の合算値）が大きいものから上位5つを紹介

順位	今後増やしたい中食ランキング	差 (pt)
1	外食店からのテイクアウト	8.8
2	スーパー、コンビニエンスストアなどの小売店	6.5
3	持ち帰り専門店からのテイクアウト	4.9
4	仕出し・ケータリングサービス	-0.2
5	宅配専門店の店頭受け取り	-1.4

（注）「増やしたい」の割合（「増やしていきたい」「どちらかという増やしていきたい」の合算値）と「減らしたい」の割合（「減らしていきたい」「どちらかという減らしていきたい」の合算値）の差分が大きいものから上位5つを紹介

（※2）【選択肢一覧】スーパー、コンビニエンスストアなどの小売店/百貨店（デパ地下など）/持ち帰り専門店からのテイクアウト/宅配専門店からのデリバリー/宅配専門店の店頭受け取り/外食店からのテイクアウト/外食店からの直接出前/外食店から配送業者を通してのデリバリー/仕出し・ケータリングサービス



「ホットペッパーグルメ」  
外食総研  
上席研究員 有木 真理

#### 「外食店からのテイクアウト」人気は続く

かねてより成長を続けていた中食市場ですが、コロナ禍で規模が大きくなりましたね。そのなかでも注目したいのは「外食店からのテイクアウト」。今回の調査によると、中食のなかで「今後増やしたい」人と「減らしたい」と答えた人の割合の差が最も大きい結果になりました。利用シーンについて見てみると「休日」や「お金があるとき」の割合が高く外食店が今まで供給していた「息抜き」や「ちょっとしたぜいたく」といった需要を取り込んでいることが分かります。メニューも気軽に食べられるものから、今までは外食で食べることが中心であった寿司、焼き鳥なども上位に入っており、バラエティー、クオリティー共に幅が広がっていきそうです。外食店からのテイクアウトは一過性のものではなく、さらに利用者が増えていくと予想しています。

【本件に関するお問い合わせ先】  
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

## 調査結果

■「外食店からのテイクアウト」について、どのシーン（※3）で利用するか聞いたところ、「休日の家族とのランチ」「休日の家族との夕食」が1位・2位という結果に。3位「給料日後などお金に余裕があるとき」、4位「平日家族との夕食」、5位「休日の一人ランチ」でした。

Q.以下のそれぞれの場面について、「外食店からのテイクアウト」を利用しますか？

（注）働いている日を平日として回答。働いていない場合は月～金曜日を平日、土日祝を休日として回答。

（中食頻度を問う質問においてすべての項目で「もともとしない」と回答した人を除く n=1,021、複数回答）

順位	「外食店からのテイクアウト」 利用シーンランキング	%
1	休日の家族とのランチ	17.6
2	休日の家族との夕食	15.3
3	給料日後などお金に余裕があるとき	11.7
4	平日家族との夕食	11.2
5	休日の一人ランチ	7.9

（※3）【選択肢一覧】朝食／職場での一人ランチ／職場での複数人とのランチ／在宅勤務中の一人ランチ／在宅勤務中の家族とのランチ／平日の一人の夕食／平日家族との夕食／休日の一人ランチ／休日の家族とのランチ／休日の一人の夕食／休日の家族との夕食／オンライン飲み会／給料日前などお金に余裕がないとき／給料日後などお金に余裕があるとき／ホームパーティー

■「外食店からのテイクアウト」で利用するメニュー（※4）についてメニュー別に調査をしたところ、1位「ハンバーガー・サンドイッチ・パン類」、2位「カレー・牛丼」、3位「焼き鳥・鶏のから揚げ・フライドチキン」、4位「寿司・海鮮料理・海鮮丼」、5位「ハンバーグ・ステーキ」という結果になりました。

Q.下記のメニューについて、「外食店からのテイクアウト」を利用しますか？

（中食頻度を問う質問においてすべての項目で「もともとしない」と回答した人を除く n=1,021、複数回答）

順位	「外食店からのテイクアウト」 メニューランキング	%
1	ハンバーガー・サンドイッチ・パン類	26.3
2	カレー・牛丼	22.5
3	焼き鳥・鶏のから揚げ・フライドチキン	20.0
4	寿司・海鮮料理・海鮮丼	17.3
5	ハンバーグ・ステーキ	12.9

（※4）【選択肢一覧】寿司・海鮮料理・海鮮丼／てんぷら・天丼・うなぎ／そば・うどん・その他麺類（ラーメン・パスタ以外）／ハンバーグ・ステーキ／焼き鳥・鶏のから揚げ・フライドチキン／ラーメン／中華料理（ラーメン以外）／パスタ／ピザ／ハンバーガー・サンドイッチ・パン類／カレー・牛丼／煮物・おつまみ・お惣菜／お弁当・飯類／サラダ／カフェメニュー・スイーツ類

【アンケート概要】 ■調査方法：インターネットによる調査 ■調査時期：2020年9月28日(月)～9月29日(火)

■調査対象：全国に住む20歳～59歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）

■有効回答数：1,032件（男性516件、女性516件）

## 「ホットペッパーグルメ外食総研」とは

『ホットペッパーグルメ』が運営する、外食市場の調査・研究機関。  
外食市場はさまざまな課題を抱え、外食産業内はもとより、内食・中食との競争も激化しています。  
「ホットペッパーグルメ外食総研」は、リクルートライフスタイルが持つ顧客接点を生かして、外食産業の調査・研究活動を行っています。外食市場の変化や兆しを見つけ、発信することで、外食産業の発展に貢献することを目指しています。

「ホットペッパーグルメ外食総研」 <https://www.hotpepper.jp/ggs/>